記　者　会　見
３．２．２２
資　料　１

令和３年度（2021年度）当初予算案の概要

新たな都市像の実現に向け、「ふるさと秦野」を創造する予算

Ⅰ　市政に臨む基本的方針 …… ｐ．１

Ⅱ　各会計の予算規模 …… ｐ．２

Ⅲ　一般会計 …… ｐ．３

Ⅳ　企業会計及び特別会計 …… ｐ．７

Ⅴ　令和３年度の主な事業 …… ｐ．８

「秦野盆地と富士山」

秦野市

Ⅰ　市政に臨む基本的方針

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続いている中で、「命と暮らしを守る」ことを最優先とし、市民に安心感が広がるよう、安全かつ迅速なワクチン接種に全力を尽くします。

今もなお、医療提供体制や景気動向が極めて厳しい状況にある中、これまで本市が総力を挙げて実施してきた「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る３本柱の対策を充実させ、市民と共にこの未曽有の危機を乗り越えていきます。また、近年激甚化する自然災害に対して、これまでの教訓を生かし、気候変動に対応した災害に強いまちづくりを進めます。

そして、未来の子どもたちへ私たちの命の源である「水とみどり」を引き継ぐことができるよう、２０５０年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に挑戦してまいります。

「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線４駅周辺のにぎわいづくり」については、魅力ある資源の磨き上げとその連携をさらに強化し、また、民間の力を最大限活用できる仕組みの構築や、支援策を展開することで、多くの人が集い、訪れ、笑顔が行き交う元気な「ふるさと秦野」を創造していきます。

令和３年度は、東京五輪の開催や新東名高速道路（秦野区間）の開通など本市が飛躍する絶好の機会を迎えます。

そして、「ふるさと秦野」の新時代を創造していくための新総合計画「はだの２０３０プラン」のスタートとなる重要な一年になります。

新たな都市像**「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」**の実現に向け、市民力・職員力を結集し、市民一人ひとりの意見を大切にしながら、市政運営に取り組みます。

≪令和３年度　主な事業の項目一覧≫

１　命と暮らしを守る施策

(1)　新型感染症の拡大防止と地域経済活性化の両立（P8）

(2)　災害に強いまちづくりの推進（P8）

２　「ふるさと秦野」を磨き上げる施策

(1)　表丹沢の魅力づくり（P9）

(2)　小田急線４駅周辺にぎわいづくり（P10）

３　総合計画前期基本計画に掲げた基本目標に沿った事業

(1)　誰もが健康で共に支えあうまちづくり（P12）

(2)　生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり（P14）

(3)　名水の里の豊かな自然と安全・安心に暮らせるまちづくり（P17）

(4)　住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力のあるまちづくり（P19）

(5)　市民と行政が共に力をあわせて創るまちづくり（P21）

Ⅱ　各会計の予算規模

一般会計では過去最大、合計では過去４番目（過去最高は平成２９年度）

会　計　名	令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	増　　減	増減率 (%)
①一般会計	**524 億 3000 万円**	**507 億 3000 万円**	**17 億円**	**3.4**
【企業会計】 ②水道事業会計	32 億 3000 万円	36 億 1100 万円	△3 億 8100 万円	△10.6
【企業会計】 ③公共下水道事業会計	52 億 4700 万円	55 億 2500 万円	△2 億 7800 万円	△5.0
④国民健康保険事業 特別会計	170 億 2000 万円	173 億 2400 万円	△3 億 400 万円	△1.8
⑤介護保険事業 特別会計	129 億 300 万円	126 億 6000 万円	2 億 4300 万円	1.9
⑥後期高齢者医療事業 特別会計	25 億 4600 万円	24 億 6500 万円	8100 万円	3.3
合　計	**933 億 7600 万円**	**923 億 1500 万円**	**10 億 6100 万円**	**1.1**
企業会計合計（②、③）	84 億 7700 万円	91 億 3600 万円	△6 億 5900 万円	△7.2
特別会計合計（④～⑥）	324 億 6900 万円	324 億 4900 万円	2000 万円	0.1

【過去 5 年の予算規模】

区　分	一般会計	企業会計	特別会計	合計
令和２年度	507 億 3000 万円	91 億 3600 万円	324 億 4900 万円	923 億 1500 万円
令和元年度	506 億 1000 万円	97 億 4700 万円	326 億 8000 万円	930 億 3700 万円
平成 30 年度	490 億 8000 万円	92 億 4400 万円	318 億 4500 万円	901 億 6900 万円
平成 29 年度	516 億 4000 万円	90 億 7700 万円	349 億 8000 万円	956 億 9700 万円
平成 28 年度	497 億 7000 万円	104 億 8023 万円	343 億 6000 万円	946 億 1023 万円

Ⅲ　一般会計

１　予算規模

令和３年度は、**「新たな都市像の実現に向け、「ふるさと秦野」を創造する予算」**とし、一般会計の当初予算額は、令和２年度当初予算に比べて１７億円増の５２４億３，０００万円とし、過去最大の規模となりました。

２　歳入

(1)　市税

市税全体では、令和２年度当初予算に比べて、１５億１，０００万円減（過去最大の減収幅）の２１４億円となり２年連続で減収となりました。

個人・法人市民税ともに、感染症の影響を受け、大きく減収を見込みました。個人市民税は８億６，４７０万円の減、また、法人市民税は、税制改正による法人税割の引下げも加わり３億１，３２０万円の減を見込んだことによります。また、固定資産税も土地評価額の下落が続くため、２億５，４４０万円の減を見込みました。

さらに、市たばこ税についても、健康志向の高まりや分煙化による喫煙機会の減少など、売上本数の減少が続いており、税率引上げが予定されているものの、３，２００万円の減を見込んでいます。

【市税の状況】

区　　分	令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	増　　減	増減率 (%)
個人市民税	83 億 5240 万円	92 億 1710 万円	△8 億 6470 万円	△9.4
法人市民税	7 億 6080 万円	10 億 7400 万円	△3 億 1320 万円	△29.2
固定資産税	94 億 4060 万円	96 億 9500 万円	△2 億 5440 万円	△2.6
市たばこ税	9 億 5100 万円	9 億 8300 万円	△3200 万円	△3.3
都市計画税	15 億 7340 万円	16 億 2110 万円	△4770 万円	△2.9
そ　の　他	3 億 2180 万円	3 億 1980 万円	200 万円	0.6
合　　計	214 億円	229 億 1000 万円	△15 億 1000 万円	△6.6

（注）予算額は、現年課税分と滞納繰越分の合算額です。

【過去５年の市税予算額】

年度	当初予算額	前年度との比較	増減率（%）
令和２年度	229億1000万円	△1億9000万円	△0.8
令和元年度	231億円	3億8000万円	1.7
平成30年度	227億2000万円	△3億円	△1.3
平成29年度	230億2000万円	△2億円	△0.9
平成28年度	232億2000万円	0円	0.0
平成20年度	258億2900万円	（過去最大予算）	

(2)　市税以外

税収不足を補てんする普通交付税は３５億８，０００万円（令和２年度比２１．８％増）を見込みました。

市債発行額は、全体で３６億６，１２０万円（同１３．８％増）とし、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債は２４億７，０００万円（同１７．６％増）としました。

財政調整基金の取崩し額は、全体で１１億７，１８０万円（同９３．４％増）とし、そのうち財源補填分は、１１億６，５００万円（同９２．６％増）となりました。

【市税以外の状況】

区　　分	令和３年度当初予算額	令和２年度当初予算額	増　減	増減率（%）
普通交付税	35億8000万円	29億4000万円	6億4000万円	21.8
市債発行額	36億6120万円	32億1700万円	4億4420万円	13.8
うち臨時財政対策債	24億7000万円	21億円	3億7000万円	17.6
財政調整基金取崩し額	11億7180万円	6億586万円	5億6594万円	93.4
うち財源補填分	11億6500万円	6億500万円	5億6000万円	92.6

【市債及び財政調整基金の残高見込み】

区　　分	令和３年度末残高見込み	令和２年度末残高見込み	増　減	増減率（%）
市　債	353億2953万円	350億1945万円	3億1008万円	0.9
うち臨時財政対策債	233億8197万円	227億8920万円	5億9277万円	2.6
財政調整基金	14億6520万円	22億3469万円	△7億6949万円	△34.4

３　歳出

事業の選択と集中を強化するとともに、市議会議員の報酬及び特別職の給与の減額措置などにより、限りある財源を真に必要な事業へ配分しました。

義務的経費は、退職者数の減により人件費は減額します。一方で障害児・者へのサービス体制の充実、市債残高の増加などにより、扶助費、公債費がそれぞれ増額となりました。

また、投資的経費（普通建設事業費）は、西中学校多機能型体育館が完成することにより、前年度当初予算に比べ４．８パーセントの減となりました。

新年度は、東海大学前駅北口の再整備、おおね公園の温水プールの施設の更新、秦野駅南部の土地区画整理事業の推進など、都市基盤整備を着実に進めていきます。主な普通建設事業費は、次のとおりです。

(1)　東海大学前駅北口ｴｽｶﾚｰﾀｰ･ｴﾚﾍﾞｰﾀｰの設置　　２億６，８２０万円
(2)　おおね公園温水プール熱源機器の更新　　２億６，３６０万円
(3)　秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業の推進　６億９，２４９万円

【款別経費比較表】

款	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	増　減	増減率 (%)
1　議会費	3億3460万9000円	3億5145万2000円	△1684万3000円	△4.8
2　総務費	52億5680万6000円	52億7659万円	△1978万4000円	△0.4
3　民生費	245億5249万7000円	238億5518万3000円	6億9731万4000円	2.9
4　衛生費	50億6481万1000円	40億5054万2000円	10億1426万9000円	25.0
5　農林費	5億10万2000円	4億6926万1000円	3084万1000円	6.6
6　商工費	10億6404万1000円	11億3666万7000円	△7262万6000円	△6.4
7　土木費	62億3101万円	59億6523万8000円	2億6577万2000円	4.5
8　消防費	21億1698万3000円	22億1738万3000円	△1億40万円	△4.5
9　教育費	37億4701万7000円	39億5845万3000円	△2億1143万6000円	△5.3
10　公債費	34億6212万4000円	33億4923万1000円	1億1289万3000円	3.4
11　予備費	1億円	1億円	0円	0.0
合　計	524億3000万円	507億3000万円	17億円	3.4

【性質別経費比較表】

区　分		令和3年度当初予算額 （構成比）	令和2年度当初予算額 （構成比）	増　減 （増減率）
義務的経費	人件費	100億6210万6000円 (19.2%)	100億7984万2000円 (19.9%)	△1773万6000円 (△0.2%)
	扶助費	152億7101万9000円 (29.1%)	149億3586万3000円 (29.4%)	3億3515万6000円 (2.2%)
	公債費	34億6212万4000円 (6.6%)	33億4923万1000円 (6.6%)	1億1289万3000円 (3.4%)
	計	287億9524万9000円 (54.9%)	283億6493万6000円 (55.9%)	4億3031万3000円 (1.5%)
投資的経費	普通建設事業費	39億6150万6000円 (7.6%)	41億5912万6000円 (8.2%)	△1億9762万円 (△4.8%)
その他の経費	物件費	79億8416万7000円 (15.2%)	66億2782万8000円 (13.1%)	13億5633万9000円 (20.5%)
	維持補修費	3億4827万8000円 (0.7%)	4億2106万6000円 (0.8%)	△7278万8000円 (△17.3%)
	補助費等	45億4095万1000円 (8.7%)	48億4015万2000円 (9.5%)	△2億9920万1000円 (△6.2%)
	積立金	4億7112万8000円 (0.9%)	3億7460万8000円 (0.7%)	9652万円 (25.8%)
	貸付金	3億3000万円 (0.6%)	3億4200万円 (0.7%)	△1200万円 (△3.5%)
	繰出金	58億9872万1000円 (11.2%)	55億28万4000円 (10.9%)	3億9843万7000円 (7.2%)
	予備費	1億円 (0.2%)	1億円 (0.2%)	0円 (0.0%)
	計	196億7324万5000円 (37.5%)	182億593万8000円 (35.9%)	14億6730万7000円 (8.1%)
合　計		524億3000万円 (100.0%)	507億3000万円 (100.0%)	17億円 (3.4%)

≪選択と集中の強化による事業の見直し（一般財源額）≫

・経常経費の見直し　（対前年度△０．７億円）

・建設事業の抑制や下水道繰出金の見直し　（対前年度△４．７億円）

≪市議会議員の報酬及び市長等の特別職の給与減額措置≫

・市議会議員の報酬減額措置　△７％　（対前年度△１，３５９万円）

・市長等の特別職の給与減額措置　※市長は任期（令和４年１月30日）まで
市長△２０％、副市長△１０％、教育長△７％　（対前年度△６８５万円）

Ⅳ　企業会計及び特別会計

１　企業会計

(1)　水道事業会計

給水収益は、感染症の影響もあり、水需要が減少し、減額が見込まれます。本年４月からスタートする新総合計画と連動するように、事業の課題と今後の方向性を示す「はだの上下水道ビジョン」を令和２年度中に策定予定です。このビジョンに基づき、健全経営を維持しながら水道施設の更新と耐震化を着実に進めていくために、水道事業計画の初年度となりますが、予算規模は、令和２年度当初予算に比べて１０．６パーセントの減額となりました。

(2)　公共下水道事業会計

下水道事業収益は、感染症の影響があり、排水量の減少を受けて、減額が見込まれます。本年４月からスタートする新総合計画と連動するように、事業の課題と今後の方向性を示す「はだの上下水道ビジョン」を令和２年度中に策定予定です。このビジョンに基づき、健全経営を維持しながら下水道施設の更新と浸水対策を着実に進めていくために、公共下水道事業計画の初年度となりますが、予算規模は、令和２年度当初予算に比べて５．０パーセントの減額となりました。

２　特別会計

(1)　国民健康保険事業特別会計

高齢化の進行や医療の高度化等により１人当たりの保険給付費が増加する一方で、被保険者数が減少することから、予算額は、令和２年度当初予算に比べて１．８％の減額となりました。

また、保険給付費の増加などによる財源不足が見込まれることから、県内の財政運営の主体である神奈川県と連携し、医療費の適正化に向けた取り組みを進めるとともに、健全で安定的な財政運営に努めます。

(2)　介護保険事業特別会計

要介護認定者数及びサービス利用者数の増加により、保険給付費が増加することから、予算額は、令和２年度当初予算に比べて１．９％の増額となりました。

(3)　後期高齢者医療事業特別会計

被保険者数の増加に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増額となるため、予算額は、令和２年度当初予算に比べて３．３％の増額となりました。

Ⅴ　令和３年度の主な事業

１　命と暮らしを守る施策

(1)　新型感染症の拡大防止と地域経済活性化の両立

（健康づくり課、産業振興課ほか　事業費：１５億５９２万円）

内訳は、2年度補正：3億7,728万円、3年度予算：11億2,864万円

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
新型感染症ワクチン接種の実施 978,159	978,159				
重点医療機関協力病院（秦野赤十字病院）への支援（R2 補正） 100,000	100,000				
地域消費喚起キャンペーンの実施(R2 補正) 250,000	250,000				
公共施設の感染拡大防止対策など(R2 補正含む) 177,761	30,205	5,928		施設利用料など 20,353	121,275
計 1,505,920	1,358,364	5,928		20,353	121,275

(2)　災害に強いまちづくりの推進　（拡充事業）

（防災課、道路整備課、建設管理課　事業費：１億１，８７６万円）

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
自然災害の未然防止と早期復旧への支援 5,044	464				4,580
避難情報の充実のため、新たに 5 か所へ監視カメラ付き水位計を設置 9,553					9,553
防災マップ・ハンドブックの更新と全戸配布 9,639	4,158	2,079		広告代 100	3,302
堀水路、矢坪沢の適切な管理と室川の護岸整備 94,528					94,528
計 118,764	4,622	2,079		100	111,963

２　「ふるさと秦野」を磨き上げる施策

(1)　表丹沢の魅力づくり　（拡充事業）

（はだの魅力づくり担当、生涯学習課、スポーツ推進課、こども育成課、環境共生課、観光振興課、農業振興課、開発指導課、道路整備課

事業費：１億１，９３０万円）

表丹沢が持つ、農林業、観光、歴史、文化、スポーツなど様々な分野の資源を磨き、つなぐことで、新たに触れる機会を増やし、「都心から近い山岳・里山アクティビティの聖地」としてブランド化し、全国屈指の森林観光都市を目指します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
表丹沢魅力づくり構想のPRや総合ホームページの構築など 8,076		3,696		広告代 30	4,350
国登録有形文化財「緑水庵」へ解説板の設置 221					221
スポーツクライミングはだの「丹沢カップ」やボルダリング教室の開催など 2,498				ふるさと基金等 1,873	625
表丹沢野外活動センターと森林セラピーロードプログラムの充実 3,026					3,026
ヤビツ峠レストハウスの運営 2,162		800		貸付料等 720	642
大倉高原周辺の山岳トイレなどの環境整備 50,607		45,084			5,523
田原ふるさと公園の魅力向上 1,727					1,727
ブルーベリー、いちご摘みなど観光農園への支援 75					75
さと地共生住宅許可制度の利用促進 907				手数料 907	
各拠点への適切なルート誘導のための道路整備 50,000			45,000		5,000
計 119,299		49,580	45,000	3,530	21,189

(2)　小田急線４駅周辺にぎわいづくり　（拡充事業）

小田急線４駅周辺の恵まれた地域資源を磨き上げ、連携させるとともに、それぞれの持つ特色を生かした取組みを行います。

ア　「魅力ある地域資源の連携」によるにぎわい創造

（はだの魅力づくり担当、生涯学習課、環境共生課、観光振興課、建設管理課、公園課、広報広聴課　事業費：７，６９３万円）

小田急線４駅周辺の恵まれた地域資源を磨き、連携させることで、まちのにぎわい創造へつなげます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
渋沢丘陵と周辺地域資源の利活用方針の策定 3,069		1,463			1,606
文化財を巡るふるさと大使とのまち歩き 350					350
秦野名水の湧水地や歴史的水道施設を訪れる「名水めぐり」と紀伊ノ守水源へフェンスの設置 1,500				水道事業繰入金 1,500	
国登録記念物「震生湖」の散策路整備と解説板の設置 40,069	1,350	12,456			26,263
桜並木の適切な維持管理による魅力向上 30,070				ふるさと基金 30,070	
地域資源を生かし、商店街と連携したスタンプラリー 1,870					1,870
計 76,928	1,350	13,919		31,570	30,089

イ　「４駅周辺の特色」を生かした地域活力の創造

（観光振興課、文化振興課、道路整備課、総合政策課、建設総務課、生涯学習課、まちづくり計画課、都市整備課、産業振興課

事業費：１０億７，６１５万円）

小田急４駅それぞれの特色を生かした事業を展開し、地域活力を生み出します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
鶴巻温泉と大山を結ぶバスの紅葉期運行への支援 3,052		1,150			1,902
鶴巻温泉弘法の里湯、宮永岳彦記念美術館のオープン２０周年関連事業の実施 319				利用料、観覧料 319	
市道 9 号線の整備と東海大学前駅北口広場へエスカレーター・エレベーターの設置 356,360	153,780		113,200		89,380
東海大学駅前交番を南口広場移転への協力 （事業費無し）					
本町四ツ角周辺の近代建築物の国登録有形文化財への登録や PR 1,052					1,052
秦野駅北口の県道 705 号の整備と周辺店舗等の建替えへの支援 918					918
秦野駅南口の今泉土地区画整理事業の推進 692,493	218,146		196,300	負担金 790	277,257
「はだの歴史博物館」での本市歴史や文化の発信 388				参加者負担金 50	338
商店会店舗の改装や空き店舗活用への支援 21,566					21,566
計 1,076,148	371,926	1,150	309,500	1,159	392,413

３　新総合計画前期基本計画に掲げた基本目標に沿った事業

目標１　誰もが健康で支えあうまちづくり

ア　小児医療体制の拡充　（拡充事業）

（健康づくり課　事業費：２，５００万円）

小児科医の増員などにより、医療体制が拡充される秦野赤十字病院を支援します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
秦野赤十字病院の医療体制の拡充・強化への支援 25,000					25,000

イ　地域共生支援センターの拡充　（拡充事業）

（地域共生推進課　事業費：１，１５７万円）

住み慣れた地域で心豊かに暮らせるよう「地域共生支援センター」を拡充し、包括的な支援体制の整備と地域の多様な力を結集した体制を強化します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
地域共生支援センターの運営 11,570	6,752				4,818

ウ　産後ケア事業の拡充　（拡充事業）

（こども家庭支援課　事業費６２８万円）

本市直営の産後ケア事業に加えて、民間助産院による日帰り型と訪問型を開始し、産前産後のリスク回避や母子支援を拡充します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
助産院による産後ケア事業の開始 6,278	3,138				3,140

エ　公立こども園のＩＣＴ化　（新規事業）

（保育こども園課　事業費４３８万円）

公立認定こども園にタブレット端末等を導入し、保護者との連携機能を強化するほか、保育教諭の事務負担を軽減し、教育・保育の質の更なる向上に取り組みます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
ICT 機器の導入やシステムの利用 4,376	2,187				2,189

オ　市内９か所目となる「ぽけっと２１」の開設　（拡充事業）

（子育て総務課　事業費４，０６４万円）

現在８か所ある子育て支援センター「ぽけっと２１」等について、就園前の子どもと保護者がより身近な地域で支援を受けられるよう、未開設の地域において、新たに１か所、出張形式による交流の場を開設します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
「ぽけっと２１」等の９か所の運営費 40,642	13,547	13,547			13,548

目標２　生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり

ア　中学校給食の完全実施　（拡充事業）

（学校教育課　事業費：８億４，３９４万円）

内訳は、2年度補正：4億6,390万円、3年度予算：3億8,004万円

令和３年１２月の開始に向け、環境整備を進めます。また、実施に当たり、地産地消の取組みを推進することで地域経済の好循環を促進します。さらに、保護者の利便性向上などのため、公会計制度を導入します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
給食提供のため給食センター建設や物品の調達 139,206				ふるさと基金等 87,092	52,114
給食配送用エレベーターの設置(R2 補正) 463,900			347,900		116,000
施設や物品の維持管理 55,497					55,497
給食費の公会計制度の導入やセンター運営経費 6,678					6,678
地産地消を推進する給食の提供 178,660				中学校給食費 101,640	77,020
計 843,941			347,900	188,732	307,309

イ　学力向上に向けた「新たな学びプロジェクト」の展開　（拡充事業）

（教育指導課　事業費：６４５万円）

学力向上アドバイザーの招へいや企業のノウハウを生かした公民連携による授業改善に取り組みます。また、学習意欲を支える力となる非認知能力の育成、寺子屋方式による放課後学習支援を実施します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
民間と連携した授業改善 5,701					5,701
寺子屋方式の学習支援 749		410			339
計 6,450		410			6,040

ウ　ＩＣＴを活用した教育の推進　（拡充事業）

（学校教育課、教育研究所　事業費：５，９７０万円）

「ＧＩＧＡスクール構想」により、児童生徒に一人１台の情報端末を配置したこと受け、教職員への技術的支援を行うＩＣＴ支援員を配置するとともに、デジタル教科書の導入に向けた環境整備を推進します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
GIGA スクール構想を踏まえた ICT 活用推進のため支援員を配置 9,456					9,456
学習用端末のヘルプデスクによる維持管理体制の構築や ICT 機器の本格運用 50,239					50,239
計 59,695					59,695

エ　教育施設の充実

（教育総務課　事業費：１億５，９６３万円）

昨年８月にリニューアルオープンした西中学校多機能型体育館の周辺道路整備など関連工事について令和３年１２月の事業完了を目指します。また、全小・中学校でトイレの洋式化の整備が完了します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
西中学校体育館等施設整備事業の完了 114,182			85,300		28,882
全小・中学校のトイレ洋式化の完了 45,450				ふるさと基金 45,450	
計 159,632			85,300	45,450	28,882

オ　東京五輪、ねんりんピックの開催に向けた取組み

（スポーツ推進課、教育指導課、環境共生課　事業費：９３５万円）

オリンピックでトップアスリートのプレーを観戦する機会を設けるとともに、パラリンピックの聖火に本市の「平和の灯（ともしび)」を送り出します。大会後には「ビレッジプラザ」に提供した秦野産木材が本市へ戻ってくるため、その誇りが市民の心に刻まれるよう活用します。

また、「ねんりんピック２０２２」のリハーサル大会を実施します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
オリンピック観戦ツアーやパラリンピック聖火フェスティバルの実施など 2,079				ふるさと基金等 2,079	
オリンピックの学校連携観戦 2,788		690		参加者負担金 1,356	742
「ビレッジプラザ」に提供した秦野産木材の活用 2,330				財産区繰入金 2,330	
ねんりんピックリハーサル大会 2,149					2,149
計 9,346		690		5,765	2,891

カ　スポーツ施設等の整備による利用者の利便性の向上

（公園課　事業費：２億７，２９６万円）

スポーツ施設の利用者の利便性を向上するため、おおね公園や総合体育館の設備を更新します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
おおね公園温水プールの熱源機器の更新 263,598		24,136		ふるさと基金 236,324	3,138
総合体育館の音響設備の更新 9,360				ふるさと基金 9,360	
計 272,958		24,136		245,684	3,138

目標３　名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり

ア　地球温暖化対策の推進　（拡充事業）

（環境共生課　事業費：３万円）

「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、「（仮称）地球温暖化対策実行計画」を策定します。その取組みの一つとして、地域のバイオマスを活用した産業創出と地域におけるエネルギーの循環の実現を目指した仕組みづくりを検討します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
「地球温暖化対策地域推進計画」の策定 26					26

イ　地産地消の推進　（拡充事業）

（農業振興課　事業費：２２万円）

農家レストランの設置を促進するとともに、ジビエ利用に向けたニーズ調査を実施し、地産地消の推進に取り組みます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
農家レストラン看板作成やジビエの試行 216					216

ウ　鳥獣被害等の課題解決に向けた里山林整備の調査　（新規事業）

（環境共生課　事業費：５５０万円）

鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けて、里山林整備の調査を実施します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
里山林整備の調査 5,500					5,500

エ　伊勢原市との消防指令センター共同運用への準備　（新規事業）

（消防総務課　事業費：１，９９６万円）

令和７年度からの消防指令事務の共同運用に向けた準備を進めます。

（ 共同指令センターの整備　令和３年度～令和５年度
　指令システムの整備　　令和４年度～令和６年度 ）

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
共同指令センター整備へ着手（基本・実施設計） 19,955		2,790	5,500	伊勢原市負担金 8,813	2,852

オ　地域防災力の強化　（拡充事業）

（警防課　事業費：６，９２０万円）

老朽化が進む消防団車庫待機室の建替えや車両を更新します。また、団員の士気高揚と入団促進のため、消防団サポートショップの拡充や処遇を見直します

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
車庫待機室の建替やトイレ改修など 40,945		11,514	25,300		4,131
消防団用車両２台の更新 25,817			25,800		17
消防団員の処遇見直し分 2,435					2,435
計 69,197		11,514	51,100		6,583

カ　安心して暮らせる地域社会の実現　（新規事業）

（市民相談人権課　事業費：１５万円）

犯罪に合われた方や、その家族が、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、「(仮称) 犯罪被害者等支援条例」の制定に向けた準備を進めます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
学識経験者との調整など 151					151

目標４　住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり

ア　新たな産業拠点の創出

（環境共生課、上下水道局、都市整備課、まちづくり計画課
事業費：２，６５５万円）

戸川地区と西大竹地区の土地区画整理準備組合に対して技術的支援を行い、土地区画整理組合の早期設立を目指します。また、両地区の市街化区域編入に必要となる手続を進めます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
産業利用促進ゾーンの揚水影響シミュレーション 4,884				水道事業繰入金 2,442	2,442
区画整理事業への支援 17,154					17,154
都市計画変更の資料作成 4,515					4,515
計 26,553				2,442	24,111

イ　新たなネットワークの形成の推進

（道路整備課　事業費：４，１１２万円）

新東名高速道路スマートＩＣから市街地へのアクセス性を高める構想路線と並行する矢坪沢の整備に向けた測量を実施します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
構想路線と矢坪沢の測量 41,120			37,000		4,120

ウ　新東名高速道路の開通記念イベントの開催　（新規事業）

（国県事業推進課　事業費：５００万円）

新東名高速道路の開通前に、記念イベントを開催します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
開通記念イベントの開催 5,000					5,000

エ　中小企業者への支援拡充　（拡充事業）

（産業振興課：事業費　６，９１０万円）

感染症の影響により、事業資金の融資を受けた中小企業者を支援するため、利子補給を拡充します。また、事業者の新製品や新技術の研究開発を支援します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業者への利子補給 68,200				感染症対策利子補給基金 20,233	47,967
新製品や新技術開発の研究に対する支援 900					900
計 69,100				20,233	48,867

オ　空家を活用した「移住お試し住宅」の実施　（新規事業）

（交通住宅課　事業費：４４８万円）

ゆとりある暮らしを求める方を対象に、テレワーク等をしながら短期間滞在し、本市の魅力を体感していただく、空家を活用した「移住お試し住宅」モデル事業を実施し、移住・定住につなげていきます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
移住お試しモデル事業の実施や管理不全空家の適正管理 4,477		1,928		体験料 120	2,429

目標５　市民と行政が共に力を合わせ創るまちづくり

ア　多様な担い手による協働の推進　（新規事業）

（市民活動支援課　事業費：８００万円）

新総合計画に定める地域まちづくり計画を推進する支援体制を強化するため、市内８地区に「まちづくりコーディネーター」を配置するとともに、まちづくり交付金を拡充します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
まちづくりコーディネーターの配置による「地域まちづくり計画」の推進 8,000					8,000

イ　市役所の電子化によるデジタルトランスフォーメーションの推進（拡充事業）

（情報システム課、戸籍住民課、建築指導課、開発指導課、建設総務課　事業費：２，３８５万円）

内訳は、2年度補正：813万円、3年度予算：1,572万円

インターネットを利用した申請や届出事務を拡充し、いつでも、どこでも必要な手続が行える市役所を目指します。また、指定道路台帳等の閲覧用図面の電子化を進めることで、市民サービスの向上と窓口業務の効率化を図ります。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
インターネットを利用した申請や届出事務の拡充(R2 補正含む) 11,756	8,131				3,625
指定道路台帳の電子化 6,138					6,138
開発区域台帳の電子化 2,953				手数料 2,953	
道路境界確定図の電子化 3,000					3,000
計 23,847				2,953	12,763